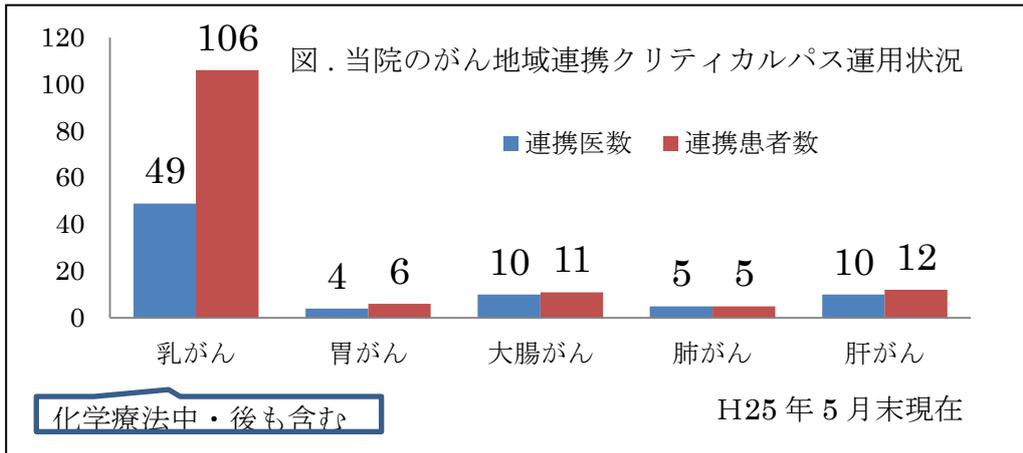




連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 4



盛夏の候、先生方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
 平素は、がん地域連携クリティカルパス（以下連携パス）運用に格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。
 さて、連携パス運用開始になりまして、早や、2年という月日が経過いたしました。
 今回は、地域連携パスの運用経過と先日、保健所主催で行われた「松江圏域肝がん・乳がん連携パス検討会」で検討されました新規連携パスと従来使用している連携パスの変更点を以下のように報告させていただきます。



肝がん連携パス検討会 H25年5月30日開催、以下2種の肝がん連携パスは7月5日～運用開始

連携パスの種類	主な対象者	特徴・主な変更点
肝がん治療	肝がん治療後または治療中（但し以下は対象外：抗がん剤内服・持続動注療法・緩和ケア症例・非代償性肝硬変・肝不全）	主な変更 治癒後のみでなく、治療中の症例も対象とする
新規 肝がん早期発見	慢性肝炎・肝硬変等の症例（非代償性肝硬変・肝不全症例は除く）	特徴 肝がんハイリスク患者からの早期発見を目的（がん治療連携指導料の算定は不可）

乳がん連携パス検討会 H25年5月30日開催

連携パスの種類	主な対象者	特徴・主な変更点	連携患者数
乳がん術後	術後ホルモン治療	主な変更 生活習慣病対応を追加。連携医に目標設定、指導をお願いする H25年7月1日より運用開始	91名
化学療法中	化学療法中	特徴 化学療法は当院で行い、その間の副作用の対応を連携医で実施	6名
化学療法後	手術後及び化学療法後のホルモン療法	特徴 手術後及び化学療法後のホルモン療法基本的に術後パスの連携内容は同じ。手術後半年～1年後から連携スタート。拠点病院で半年ごとの胸部写真・腹部エコーが追加。	9名

新規連携パスと従来使用している連携パスの変更点の詳細は、連携患者さんをお願いする際に説明させていただきます。今後も地域の病・医院の先生を初めスタッフの方々、患者様のご意見をいただきながら、より良いものに発展できますよう検討を重ねてまいりたいと思います。

今後ともご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

平成 25 年 7 月 吉日

連絡先：松江赤十字病院 地域医療連携課

TEL：0852-32-7813 FAX：0852-27-9261